

水稲湛水直播栽培における種子の加温処理により 除草剤の薬害が軽減できる

福島県農業総合センター会津地域研究所
平成18年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

水稲 - 水稲 - 雑草防除、水稲直播
分類コード 01-01-20750000

2 担当者

山内敏美、荒井三千代

3 要旨

水稲直播栽培において、種子の加温処理が生育に及ぼす影響と除草剤の薬害軽減効果について検討した。

- (1) 加温処理区が生育に及ぼす影響
加温処理のイネの生育に及ぼす影響は、無加温区に比較し葉数で0.3葉程度促進され、葉数の分布については生育の進んだ苗の比率がやや多くなった。
- (2) イネの葉数の差が除草剤の薬害発生に与える影響
薬害は生育抑制が中心で、薬害程度の大きいものは枯死に至った。0.5葉では25.6%、1.0葉では5.6%の発生であった。1.0葉を超えるものには薬害の発生はみられなかった。
- (3) 加温処理と薬害発生
加温処理で薬害の発生が少なかった。
- (4) 以上の結果、加温処理はイネの葉数が進むため、薬害発生限界以上の個体が多くなり、薬害を軽減できる。また、この効果で加温処理区はノビエとの生育較差が縮まり、除草剤の処理適期幅も拡大できるものと考えられた。

4 その他の資料等

なし